

第二次佐久市総合計画前期基本計画における目標設定等について

1 第一次総合計画における課題

(1) 数値目標設定の課題

- ア 目標が施策全体を表しておらず、目標値が良くなっても施策全体が良くなったとは言えない。
- イ 人口減少の中、単に参加者数、利用者数を伸ばすという目標があり達成困難なものがある。
- ウ イベントなど天候や開催回数、内容などに影響を大きく受けるような目標値があり、件数や参加者数を伸ばすことで良いのか。
- エ 目標によっては、単に行政側の活動量を伸ばすようなものがあり、施策や事業の成果を示していない。
- オ 統計調査の終了や数年おきに調査が実施されるなど、実績値が毎年取得できない目標があり、目標管理ができない。

(2) チャレンジの課題

- 施策の大綱と同じレベルのものと事務事業レベルのものがあり、施策ごとの今後の目指すべき所の差が大きい。

(3) 進行管理の課題

- ア 目標は事務事業レベルのものがほとんどのため、目標の進行管理では施策の進行を管理することは困難である。
- イ チャレンジは、施策の目指す方向のため、進行状況を管理することは困難である。

2 第二次総合計画における目標設定の留意点

第二次佐久市総合計画における目標設定に当たっては、上記の第一次総合計画における課題を踏まえ、次の事項に留意するものとする。

- (1) 昨年度総合戦略を策定しており、総合戦略にも基本目標、K P I（重要業績評価指標）の設定を行っていることから、整合を図る必要がある。
- (2) 第一次総合計画後期基本計画の目標の問題点などを受け、施策目標は、施策全体を評価できるようなアウトカム指標（行政活動の成果を表す指標）を設定する必要がある。
- (3) 統計的な指標を目標としておく場合は、施策の進行管理とは別に目標管理を行う必要がある。

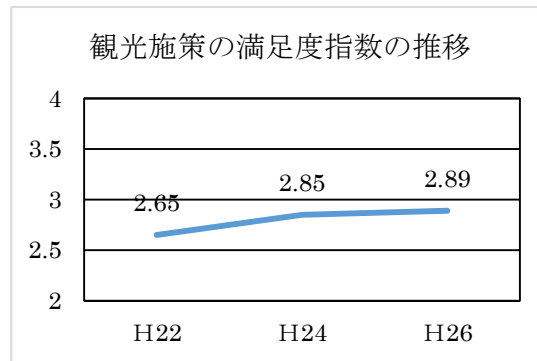
3 目標設定案

以下の方針により、目標設定することとする。

(1) 施策には、市民満足度調査（2年ごと実施）をベースとして、施策目標を設定する（1施策1目標）。

⇒平成28年度調査結果を基準値として、市民満足度の向上を目指す目標を設定する。

(イメージ)



(2) 総合戦略をベースとして施策横断的な重点プロジェクトを設定し、プロジェクトごとに目標設定する（1プロジェクトに1目標）。

⇒総合戦略は、人口減少対策の4つの基本目標を掲げている。その基本目標にプラスして、将来都市像「快適健康都市」を踏まえた健康長寿の一層の増進に向けたプロジェクトを設定するとともに、そのプロジェクトに目標を設定する。

(イメージ)

- プロジェクト1 仕事と雇用の創出
(目標：市内事業所の従業者数の増加)
- プロジェクト2 人口の社会増
(目標：人口社会増)
- プロジェクト3 人口の自然増
(目標：合計特殊出生率の向上)
- プロジェクト4 まちの活性化
(目標：住みやすいと感じる市民の増加)
- プロジェクト5 健康長寿の推進
(目標：健康寿命の延伸 (調整中参考))

(3) その他重点的に管理すべき統計指標を数値目標として設定する。

⇒上記プロジェクトと関連性が高い統計指標を目標として設定する。

* 第一次総合計画後期基本計画にある「チャレンジ」は設定しない。